



昨年11月5日、今年度の長柄中学校国際交流事業がおこなわれました。本事業は、異文化への理解を深めることを目的に、2021年度から継続的におこなわれている千葉大学との連携事業です。今年度は、韓国、マレーシア、パナマ、パプアニューギニアから留学生4名が来訪し、長柄中の全校生徒101名に加え、今年度は長柄小の6年生19名とも交流しました。各国の文化や食生活を紹介するプレゼンテーションでは、クイズや質疑応答も活発におこなわれ、生徒たちは身近な疑問を通じて異国への理解を深めました。終了後のアンケートでは、中学生の8割以上が「また参加したい」と回答し、半数以上が「自分の将来を考えるきっかけになった」と答えました。中学生・小学生にとって多様な価値観に触れられ、視野を広げる有意義な機会となったと思います。